

2024年7月18日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学

東北大学発スタートアップ起業支援プログラムに 学生からの申請1件を含む12件を新たに採択

【発表のポイント】

- 大学発スタートアップ創出に向けた事業性検証や技術のブラッシュアップによりビジネスモデルの確立を目指す支援プログラムに、学生からの申請1件を含む12件を採択しました。
- 今後、事業化資金を提供するほか、メンタリングやマッチングイベント機会を提供し、研究者や学生の事業化を後押しします。

【概要】

東北大学は、新産業創出が求められる中で、社会変革の原動力となる大学発スタートアップの創出を支援する取り組みを行っています。

その一環として、事業化の意志を持つ研究者や学生を対象に社会的インパクトのある研究成果の事業化を支援する東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム（以下「BIP」）を実施しています。

この度、2024年度学内公募に係る審査の結果、12件を採択しました。

BIPでは、2013年7月の開始以降、これまで95件を支援しており、そのうち34件がスタートアップ企業の設立につながっています。

BIP事業期間において、(1) PoC (Proof of Concept) 確立に向けた検証、(2) 知財の獲得、(3) BIP終了後に必要な外部資金獲得準備、(4) 創業メンバーの探索など、起業化に向けた基盤作りを行ったことが上記成果につながったと考えられます。

本学は国際卓越研究大学の目標と重点成果指標において、将来的なスタートアップ創出数の大幅増を掲げており、今後もスタートアップの創出を加速するべく各種施策に取り組んで参ります。

【関連リンク】

スタートアップ事業化センターウェブサイト：

<https://startup.tohoku.ac.jp/>



別紙

2024年度東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム（BIP）採択内容

所属部局	実施代表者	BIP 実施内容
大学院医学系研究科	中井 琢 助教	持久系アスリートを対象とした低酸素宿泊施設サービス「Hypoxia House」の開発および事業化
大学院医学系研究科	松本 拓朗(博士課程)	AI を用いた自動細胞顕微鏡の開発
病院	豊原 敬文 准教授	iPS 細胞由来 3D 血管を用いた血管再生治療の開発と社会実装
病院	鎌野 優弥 講師	大規模骨欠損に対する造骨再生医療用の細胞提供技術の開発
病院	長崎 敦洋 助教	硬組織結合型アルカリフォスファターゼによる新規硬組織再生療法の開発・事業化
大学院工学研究科	西澤 松彦 教授	マイクロニードルポンプによる経皮セルフメディケーション
大学院工学研究科	菊地 謙次 准教授	高い穿刺精度と更なる安全性および低侵襲治療を可能にするバイオミメティック穿刺アシストシステムの研究開発
大学院工学研究科	宮本 浩一郎 准教授	植物センサ RINGO の事業化検証
大学院農学研究科	加藤 俊治 准教授	新たな油糧資源としての昆虫油の確立
未来科学技術共同研究センター	田中 佑治 特任准教授	複合細胞膜 One-pot 形成・保存キットの事業化検証
電気通信研究所	後藤 太一 准教授	ナノ磁氣的波動制御構造体を用いた動的な光操作素子の事業化検証
学際科学フロンティア研究所	郭 媛元 准教授	ファイバ技術を用いた「足のむくみ」解消機器の開発と事業化検証

事業期間：2024年8月1日～2025年3月31日

【問い合わせ先】

国立大学法人東北大学 産学連携機構

スタートアップ事業化センター

TEL:022-752-2320

問い合わせフォーム:

<https://forms.gle/Lpzo4HkF4GfgUAHa9>